

平成28年度インターンシップ研修生受入テーマ

No.	受入可能部署名	研修実施場所 *1	課題・テーマ(案)	受入 人数	受入条件*2				実習日数	実習期間		研修概要	その他 特に連絡しておく必要のある事項等
					区分	専攻学科等	学年	その他		開始日	終了日		
1	広報部 企画・普及課	東京事務所 (業務内容に応じて各事業所にて適宜実施も予定)	JAXAの宇宙航空事業に関して、海外に向けた効果的・魅力的な情報提供を実現するため、情報発信ツール(webメディア、ソーシャルメディア)、海外メディアリレーションズなどを用いた手法検討と実践、効果分析・フィードバックまでのフロー立案	1	大学	・広報、メディアリレーションズ、コミュニケーション関連分野への知見 ・宇宙外交関連分野への関心	2年～	なし	約2ヶ月	6月中旬	8月中旬	<ul style="list-style-type: none"> ■JAXAの宇宙航空事業に関して、国内外への情報発信を通じて理解を深める ■そのため、効果分析を行い、情報発信ツール(webメディア、ソーシャルメディア)、海外メディアリレーションズなどの効果的な活用手法を実践し、次のアクションにつなげるフィードバックまでのフローを検討立案する ■情報収集の観点から、宇宙航空分野の国際動向・宇宙外交面に関する調査活動も実践する 	<ul style="list-style-type: none"> ・主な勤務部署は広報部 ・国際動向調査や宇宙外交に関するテーマについては、調査国際部の支援を受けながら実施する予定
2	有人宇宙技術部門 きぼう利用センター	筑波	タンパク質結晶成長研究	1	指定なし	指定なし	指定なし	なし	7日	8月	11月末	タンパク質結晶化実験に係る干渉計測などを実施する。	なし
3	有人宇宙技術部門 きぼう利用センター	筑波	半導体結晶成長研究	1	指定なし	指定なし	指定なし	なし	7日	8月	11月末	半導体結晶の作製及び評価を行う。	なし
4	有人宇宙技術部門 有人宇宙技術センター	筑波 および 調布	環境制御・生命維持システム(ECLSS)および宇宙服に関する調査・データ取得の実習	3	指定なし	指定なし	指定なし	なし	10日	7月	9月	環境制御・生命維持に係る要素技術(空気再生、廃棄物処理、メタン熱分解など)および宇宙服に係る調査や要素モデルを用いた試験データの取得およびデータ評価を行う。	7月から9月の間で10日間
5	宇宙科学研究所 学際科学研究系	相模原	宇宙生物学研究	2～3	大学	医学	3	なし	5日	7月25日	7月29日	宇宙環境の生物影響について基礎生物学の宇宙実験を中心に学ぶ	実習期間が変更になる可能性あり
6	宇宙科学研究所 科学衛星運用・データ利用ユニット・あかりデータ処理・解析チーム	相模原	「あかり」データプロダクトの評価・検証	2～4	大学・大学院	特になし その他参照	特になし その他参照	特になし その他参照	2週間	7月	10月	赤外線天文衛星「あかり」のデータアーカイブ作業の一貫として、処理済みデータの評価、あるいはデータプロモーション素材の作成を行う。詳細は個別に相談。	実習期間は7～10月の2週間程度で、採用決定後に個別に調整。プログラミングの知識があることが必須。天文学の基礎知識(あるいは興味)がある方が望ましい。 外国人受け入れ可。
7	航空技術部門 数値解析技術研究ユニット	調布 本社	航空機・宇宙機の空力数値シミュレーション	1～2	大学・大学院	・航空宇宙 ・機械	指定なし	なし	2週間	7月下旬	9月末	航空機・宇宙機の空力に関する数値シミュレーションを実習	<ul style="list-style-type: none"> ・Linuxを使えること。 ・圧縮性流体力学の知識があること。 ・CFD解析の経験があること。 ・Vehicle Sketch Pad (VSP)をインターンシップ前に練習しておくこと。
8	航空技術部門 数値解析技術研究ユニット	調布 本社	航空・宇宙機周りの騒音数値シミュレーション	1～2	大学・大学院	・航空宇宙 ・機械	指定なし	なし	2週間	7月下旬	9月末	JAXAで開発中の騒音予測ツールを用いたシミュレーションを実習	<ul style="list-style-type: none"> ・Linuxの基礎知識があること。 ・フルエ解析、流体力学に関する基礎知識を持っていること
9	航空技術部門 次世代航空イノベーションハブ 航空機システム研究チーム	調布 飛行場分室	回転翼航空機の数値解析	3	高専	指定なし	指定なし	なし	5日間	7月25日	9月2日	JAXAが開発した回転翼航空機用CFD解析ツールを用いて、マルチコプター・ドローン等の飛行特性を解析する。	なし
10	航空技術部門 推進技術研究ユニット	調布 本社	エンジンに関連する騒音計測	2名以下	大学・大学院	航空・機械	B4～M2	なし	10日以内	TBD	TBD	実験室又は屋外にて騒音計測等	<ul style="list-style-type: none"> ・学生実験の経験 ・受入確定後に受入期間を個別調整するので実習期間は、参加出来る期間を記入
11	航空技術部門 SafeAvioプロジェクトチーム	調布 飛行場分室	乱気流検知技術に関する研究	1	大学院	航空宇宙工学 機械工学	指定なし	なし	2週間程度	7月以降	12月以前	乱気流検知技術に関連した地上試験、飛行実験計画の策定、実験データの解析を実習	<ul style="list-style-type: none"> ・空気力学、MATLAB、マイクロソフトオフィス等に関する基礎的な知識が必要。 ・気象に関する知識があることが望ましい。 ・日程に関しては応相談。
12	航空技術部門 次世代航空イノベーションハブ 航空安全技術研究チーム	調布 本社	機体防着水技術の研究 機能性分子による流体計測・制御の研究	数名	指定なし	指定なし	3年生以上	なし	希望日数	7月11日	3月30日	機体着水防着技術または機能性分子センサにおける、基礎研究調査、実験装置構築、センサ開発、流体計測、機能性塗料の開発。詳細は個別相談。	異分野融合に興味のある、やる気のある方を募集。期間は長期希望。センサ開発、流体計測に関しては、必須ではないが光計測技術に興味があればなお良い。
13	研究開発部門 第二研究ユニット	調布 本社	軽ガス銃による火星突入カプセル周りの流れ場可視化試験	2	指定なし	指定なし	指定なし	なし	5日	7月25日	7月29日	火星突入カプセルモデルを軽ガス銃にて超高速飛行させ、モデル周りの流れ場を可視化する。	なし
14	研究開発部門 第二研究ユニット	調布 本社	超高速突入条件における衝撃波前方の光化学反応評価	3	指定なし	指定なし	指定なし	なし	5日	8月29日	9月2日	メインベルト以遠からのサンプリーターにおける大気突入条件を模擬し、衝撃波前方の光化学反応を評価する。	なし
15	研究開発部門 センサ研究グループ	筑波	地球観測を目的とした赤外線検出器及び地球観測用小型赤外線カメラによる赤外線画像評価	1	大学院	指定なし	指定なし	なし	1週間程度	8月1日	12月末	現在研究を行っている赤外線検出器の評価及び衛星に搭載されている小型赤外線カメラによる赤外線画像の評価を行い地球観測についての理解を深める。	
16	研究開発部門 第三研究ユニット	筑波	液体ロケットタンクの大変形・破壊評価用の材料構成/破壊則の検討	1	大学院	工学系	修士1年	なし	15日	7月1日	9月30日	破壊要素試験との比較による基礎検証により材料構成/破壊則を検討する。	7月1日～9月30日の間の15日間